

新「桐生市民体育館」を建設します

10月から新しい市民体育館の建設工事を始めました。工期は、平成32年9月までの2年間で予定しています。

運動公園利用者や周辺にお住まいの人には、工事車両の出入りなどでご迷惑をおかけしますが、安全対策には万全を期しておりますのでご理解、ご協力をお願いします。

問い合わせは、スポーツ体育課スポーツ施設管理係（☎内線659）へ。



桐生市民体育館 完成予想図

建設場所

建設場所は、附属球場A Bとして利用されていた場所で、完成後、現在の体育館を取り壊し、その跡地を駐車場にします。なお、附属球場A Bの代替としては、附属球場C Dの拡張工事をスポーツ振興くじ助成金を活用して行い、野球またはソフトボールが2面できるようになっています。

建設の背景

桐生市民体育館は、昭和44年7月に開設して以来、屋内スポーツ活動の拠点施設としての役割を担い、これまで本市スポーツの振興や発展に寄与してきました。しかし、建設後49年が経過し、機能の充実と施設の老朽化への対応など、多くの市民から早急な対応が求められていました。このような状況を受け、体

育関係者などから意見を聞き、検討した結果、新体育館を建設することになりました。

建設の概要

新体育館は、意見提出手続（パブリックコメント）で寄せられた意見なども参考に、誰にでも優しい施設を基本に、健康、環境面などにも配慮した設計となっています。また、スポーツ関係者だけが満足する施設ではなく、市民に必要な機能を併せ持ち、魅力あるまちづくりの一環となる非常に重要な施設と考えています。

新体育館の概要

●メインアリーナとサブアリーナ
メインアリーナの面積は、現在の市民体育館とほぼ同じで、バスケットボールコートが最大2面、バレーボールコートであれば3面、バドミントンコートであれば10面を確保できます。また、ウォーミングアップの場所としても利用できるサブアリーナを備え、面積は、バスケットボール・バレーボールコートであれば1面、バドミントンコートであれば4面を確保できます。

●ランニングコースとトレニングルーム
2階には、1周約200メートルのランニングコースを設け、天候に左右されずにラ

ンニングやウォーキングができます。また、ルームランナーやエアロバイクなどを取り入れた明るく開放的なトレニングルームも設置します。

空調設備

新体育館は、メインアリーナとサブアリーナにも空調設備を設置します。

●熱交換効率が良い設備を導入するとともに、屋外の光を間接的に取り込むことで太陽光による熱の上昇を防ぎつつ採光するなど、電力の消費を抑えます。

利用者に配慮した設備

スロープやエレベーターを設置し、段差を排除したバリアフリーで、階段には、手すりや点字ブロックを設置し安全・安心に配慮しています。

●廊下や間口は、車椅子でも通過しやすい幅を確保し、1階と2階にそれぞれ多目的トイレを設置します。また、2階観客席には身障者対応席を4か所に合計12席設けます。更衣室内には身障者対応のシャワー室を設置します。

●ゆとりのある親しみやすい外観

正面入り口の歩道も広く設け、屋外の階段から上ることが出来る屋外テラスなど体育館利用者だけでなく市民が親しみやすい施設となります。